

中国経済

破綻へのカウントダウン

銀行消滅



現実化する「実質的な出金拒否」

155

過去50日間で消滅した小規模銀行数

70,000元

定期預金引き出し拒否額

北京密雲区・建設銀行

8,000億元

政府の緊急資金注入

(それでも不足状態)

共産主義の厳密な資産管理体制下で、資金不足による「取り付け騒ぎ」の防止が水面下で進行中。SNSでは告発動画も拡散。

不動産バブル崩壊からの「負の連鎖」

バブル崩壊

2021年9月をピークに住宅価格が継続下落（ピーク時指数約146）。恒大集団や碧桂園の危機は序章に過ぎない。

担保割れ（深刻化）

買った家の価値 < ローン残高。水面下の延命措置として、国有銀行が最長2年の住宅ローン返済猶予を裏で提案。

銀行の稼ぐ力「激減」

四大銀行の利ざやがリーマンショック直後（2008年）の半分以下に縮小。担保不動産「7万戸」の在庫処分セール開始。

建設銀行・中国銀行にはすでに公的資本が注入。「全面崩壊」ではなく政府介入による「ゾンビの延命フェーズ」。

切り離せない経済の「シャム双生児」

中国

約44兆円 (シェア約20%)

アメリカ

約33兆円 (シェア約15%)

「中国が風邪をひけば、日本もくしゃみをする。
日常への影響はすでに始まっている。」

中国

約44兆円 (シェア約20%)

ダントツの最大貿易相手国 (輸出18%・輸入23%)

その他 約65%

「デフレ輸出」の直撃と、泥沼のチャイナプラスワン

【貿易の歪み】



対中輸出の5割超が半導体製造装置。
自動車や一般製品は苦戦したまま。

【3万社超の日系企業】



現地需要減退と融資引き締め。
移管コストと既存サプライチェーンの混乱により
「逃げたくても簡単には逃げられない」実情。

中国客が消えても、観光収入は「過去最高」のパラドックス

中国人訪日客数

▲45.3%

約33万人減少(2025年12月)。
台湾有事発言への反発による
訪日自粛下公告が引き金。

欧米など他国からの
観光客が**大幅増**
(韓国+12.3%、台湾
+19.8%、米国+13.5%、
マレーシア+40.4%)。

日本経済へ波及しない
中国特有決済(違法白
タク・アリペイ等)が減
少、**実質的メリット増**。

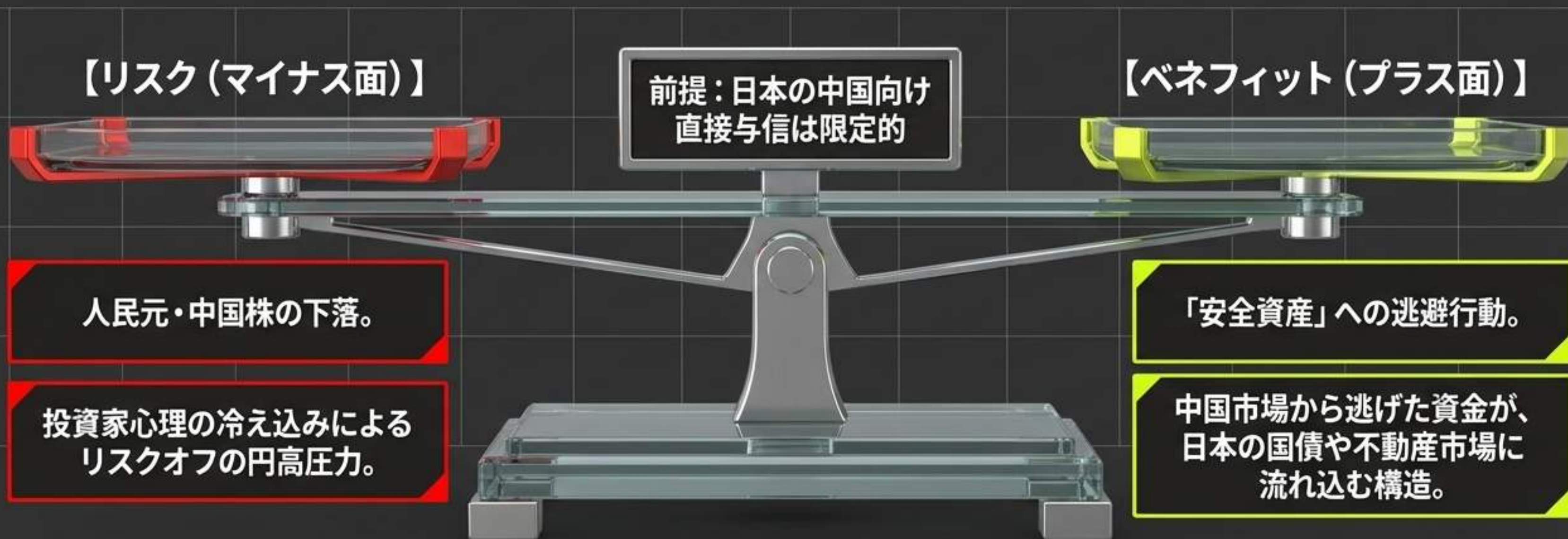
訪日客全体の
消費額

+16%

12月として**過去最高記録**。

一国依存のリスク顕在化が、皮肉にも「日本の脱中国依存」を成功させている。

直接打撃は回避。 波及は「カネの逃避先」へ



全面的な金融ショックの引き金にはならないが、市場に長期的な構造転換を迫る要因になる。

大火事ではなく、「慢性病」へのシフト



~~短期的な全面崩壊~~



じわじわと続く慢性的なデフレと低成長

1

Japanification (日本化)

現在の中国は、バブル崩壊後の日本が経験した「失われた30年」の入り口に立っている。

2

低成長の波及

「全面崩壊」ではなく、「慢性的な低成長」が日本経済へ波及し続ける。

3

次なるアクション

「短期の痛みを耐えながら、中国に依存しない長期の構造転換(多角化)」を進められるかが問われている。

あなたの身近な「中国リスク」、直感でどう思う？



遠い国の話に見えて、
すでにああなたの隣にある話。



 あなたの会社や生活で感じる変化はありますか？